

令和6年3月31日

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価	評価
地域社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	●子どもに夢と気概を育む教育実践を行う。	①地域人材を積極的に活用した教育活動を行う。	4. 各学年とも年間3回以上の地域人材の活用 3. 各学年とも年間2回以上の地域人材の活用 2. 各学年とも年間1回以上の地域人材の活用 1. 地域人材を活用することができなかった	3.5	A	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	90	A	①学年によっては、どのように地域人材を活用しているのか内容が伝わらない現状がある。	①学校だよりやホームページを通して、保護者の方への周知を進めたい。 ②学校コーディネーターを活用しながら交流授業に取り組んでいきたい。	A	
			②保護者や地域と一体となって子どもたちを育む。	4. 各学年とも年間3回以上の交流授業を行う 3. 各学年とも年間2回以上の交流授業を行う 2. 各学年とも年間1回以上の交流授業を行う 1. 交流授業を行うことができなかった	3.4	B	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	87	A	②学年間・差が大きいのが現状である。	③職員が学校通信やホームページ作成ができるに年間計画や行事を見直し、教員の作業時間の確保が必要である。		
			③地域・保護者への情報発信を推進する。	4. 3回以上の更新 3. 2回以上の更新 2. 1回以上の更新 1. 1回未満の更新	3.1	B	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	88	A	④4者ともに概ね良好である。	④年度末も、積極的に開かれた学校づくりに努めている。		
			④学校公開・学校行事での教育活動の公開に取り組む	4. 3回以上の実施 3. 2回以上の実施 2. 1回以上の実施 1. 1回未満の実施	3.8	A	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	100	A				
確かな学力の育成	授業改善を進め、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力、判断力、表現力等の育成とともに、主体的・対話的で深い学びを実現する。	●基礎学力を保障する教育を実践する。	⑤各教科の基礎的・基本的なことが身身に付けさせる。	4. 80%以上の単元で達成 3. 80%以上の単元で達成 2. 70%以上の単元で達成 1. 70%未満	2.7	C	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	80	A	⑤教科と保護者との間、大きな認識の違いがある。教員には基礎的・基本的な内容を定着させたいという使命感がある。	⑤基本的な内容を定着させる時間を設定するとともに、保護者への家庭学習の啓発を行ってほしい。	B	
			⑥宿題や家庭学習に積極的に取り組ませる。	4. 80%以上の児童が達成 3. 70%以上の児童が達成 2. 60%以上の児童が達成 1. 60%未満	3.2	B	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	68	C	⑥宿題や家庭学習に取り組むについて意識をもっている保護者が多い。	⑥宿題や家庭学習に取り組むについて意識をもっている保護者が多い。		
			⑦すすんで読書ができるようにさせる。	4. 低学年月4回、高学年月3回以上、図書館の貸し出し実施 3. 低学年月3回、高学年月2回以上、図書館の貸し出し実施 2. 低学年月2回、高学年月1回以上、図書館の貸し出し実施 1. 低学年、高学年とも、月に一度も図書館の貸し出し行かなかった。	3.4	B	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	54	D	⑦課題意識をもっている保護者が多い。	⑦課題意識をもっている保護者が多い。		
			⑧英語学習に楽しく取り組めるようにさせる。	4. 80%以上の児童で達成 3. 70%以上の児童で達成 2. 60%以上の児童で達成 1. 60%未満	3.6	A	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	72	B	⑧英語を専門科目としない教員がほとんどで、担任の努力で学習が成立している状態である。	⑧英語を専門とする教員を配置できるように努めている。		
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・意欲・態度を育てる。	●学習に興味・関心を持たせ、主体的に学ぶ教育を実践する。	⑨ICT(学習機器)を積極的に活用できるようにする。	4. 70%以上の単元で実施 3. 60%以上の単元で実施 2. 50%以上の単元で実施 1. 50%未満	3.7	A	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	74	B	⑨どのようにICTを活用しているのか保護者に周知できていない。	⑨職員の入替わり等により活用が減っている。今後、充実させていきたい。	B	
			⑩いじめ防止や体罰防止に取り組む。子どもたちの人権を大切にすること。	4. 80%以上の指導場面達成 3. 70%以上の指導場面達成 2. 60%以上の指導場面達成 1. 60%未満	3.9	A	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	84	A	⑩学校が、具体的にどのような取り組みをしているのか保護者に伝わらない現状がある。	⑩月一度実施のいじめ対応チームなど、取り組みを保護者に周知していく。		
			⑪学校のきまりや家庭のきまりを守ることができるようにさせる。	4. 80%以上の児童が達成 3. 70%以上の児童が達成 2. 60%以上の児童が達成 1. 60%未満	3.3	B	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	88	A	⑪教員と保護者の間に児童観の違いがある。	⑪代表委員会を中心に、挨拶運動に継続して取り組んでいきたい。また、教員が模範を示していきたい。		
			⑫あいさつがきちんとできるようにさせる。	4. 80%以上の児童が達成 3. 70%以上の児童が達成 2. 60%以上の児童が達成 1. 60%未満	3.3	B	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	82	A	⑫今日の授業は危険ではないと教員は危機感を感じていない。	⑫今日の授業は危険ではないと教員は危機感を感じていない。		
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・意欲・態度を育てる。	●自己理解及び自尊感情を高める教育を実践する。	⑬交通安全防止や不審者対応などの安全意識を身に付けさせる。	4. 80%以上の児童が達成 3. 70%以上の児童が達成 2. 60%以上の児童が達成 1. 60%未満	3.4	B	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	91	A	⑬放課後のラブラルや事故が増えてきているため、両者の間にや意識に違いが出ている。	⑬放課後のラブラルや事故が増えてきているため、両者の間にや意識に違いが出ている。	B	
			⑭ICT(学習機器)・スマートフォンなどによるネットマナーを身に付けさせる。	4. 1年に3回以上、情報モラル教育実施 3. 1年に2回以上、情報モラル教育実施 2. 1年に1回以上、情報モラル教育実施 1. 1年に1回未満	3.5	A	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	73	B	⑭今日の授業は危険ではないと教員は危機感を感じていない。	⑭今日の授業は危険ではないと教員は危機感を感じていない。		
			⑮日常的に、運動やスポーツ(遊びを含む)に積極的に取り組ませる。	4. 80%以上の児童が達成 3. 70%以上の児童が達成 2. 60%以上の児童が達成 1. 60%未満	3.6	A	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	76	B	⑮、コロナ禍以前、運動量を確保できていないのが現状である。	⑮楽しまず運動する機会を設定してきたい。また、児童会や大縄などに取り組んでいきたい。		
			⑯食に関する知識や望ましい食習慣、生活習慣を身に付けさせる。	4. 80%以上の児童が達成 3. 70%以上の児童が達成 2. 60%以上の児童が達成 1. 60%未満	3.5	A	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	77	B	⑯食に関する知識が低いのが現状である。	⑯食に関する知識を低学年から継続的に指導していきたい。		
健康な体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせる。丈夫な体とまじめ心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付けさせる。	●オリンピック・パラリンピック教育と運動して、児童一人一人の体力向上を図る。	⑰食に関する知識や望ましい食習慣、生活習慣を身に付けさせる。	4. 80%以上の児童が達成 3. 70%以上の児童が達成 2. 60%以上の児童が達成 1. 60%未満	3.5	A	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	77	B	⑰食に関する知識を低学年から継続的に指導していきたい。	⑰食に関する知識を低学年から継続的に指導していきたい。	B	
			⑱忠生中学校と連携して教育活動に取り組む。	4. 1年に3回以上実施 3. 1年に2回以上実施 2. 1年に1回以上実施 1. 1年に1回未満	3.3	B	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	68	C	⑱活動が再開しているが、保護者の方に伝わらない内容があることが現状である。	⑱中連携協議会の様子などをホームページで紹介し、情報開示に努めてきたい。		
			⑲校内整備や校内美化に取り組む。	4. 1年に3回以上実施 3. 1年に2回以上実施 2. 1年に1回以上実施 1. 1年に1回未満	3.9	A	4. 保護者アンケート満足率80%以上 3. 保護者アンケート満足率70%以上 2. 保護者アンケート満足率60%以上 1. 保護者アンケート満足率60%未満	80	A	⑲環境が子どもたちを育てるという一面がある。引き続き、職員一岡で取り組んでいきたい。	⑲環境が子どもたちを育てるという一面がある。引き続き、職員一岡で取り組んでいきたい。		
				4. 1年に3回以上実施 3. 1年に2回以上実施 2. 1年に1回以上実施 1. 1年に1回未満									
その他													

学校関係者評価の評価基準例

A→ 取組・成果ともに十分評価できる
B→ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
C→ 目標達成には至らないため、次年度の改善が必要
D→ 重要な課題であるため、次年度、重点的に改善

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。